

# 飼料用米多収日本一・畜産物ブランド日本一表彰式表彰式、 飼料用米普及のためのシンポジウム2018

開場 10:30~

プログラム（敬称は略します）

11:00~12:00

## 飼料用米普及のためのシンポジウム2018 第一部

主催者ご挨拶 一般社団法人 日本飼料用米振興協会 理事長 海老澤 恵子  
連帯のご挨拶 日本生活協同組合連合会 専務理事 和田 寿昭  
ご挨拶 農林水産省生産局畜産部飼料課 課長 犬飼 史郎  
基調講演 「米政策と飼料用米の推進について」  
農林水産省政策統括官穀物課 課長 塚田 輝也



12:00~13:00

展示（ロビー）・試食（会議室）・休憩

13:00~14:10

## 飼料用米多収、畜産物ブランド 表彰式

◆多収日本一表彰式 主催：一般社団法人日本飼料用米振興協会、農林水産省  
◆畜産物ブランド日本一表彰式 主催：一般社団法人日本養豚協会 後援：農林水産省  
ご挨拶 一般社団法人日本飼料用米振興協会 理事長 海老澤 恵子  
ご挨拶 農林水産大臣（未定）  
ご挨拶 一般社団法人日本養豚協会 会長 志澤 勝  
受賞者 代表挨拶（多収日本一、畜産物ブランド日本一）  
記念撮影 多収日本一、畜産物ブランド日本一

14:10~14:30 休憩 舞台装置転換

14:30~16:30

## 飼料用米普及のためのシンポジウム2018 第二部

特別報告 飼料用米低コスト生産の展望について  
東京農業大学畜産マネジメント研究室 教授 信岡 誠治  
活動報告1 養豚経営における飼料用米活用（集荷から給与までの流通改革）  
株式会社木村牧場 代表取締役社長 木村洋文  
活動報告2 飼料用米育ちの畜産品の拡大について  
コープデリ生活協同組合連合会 コミュニケーション&CSR室長 岩佐 透  
活動報告3 飼料用米を活用した養鶏、鶏卵事業  
農事組合法人会田共同養鶏組合 組合長理事 上村博文

16:30~16:45

閉会挨拶 一般社団法人日本飼料用米振興協会 副理事長 加藤 好一  
(生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長)

参集範囲 生産者及び生産団体、米穀流通事業者、飼料事業者、流通・物流事業者、消費者団体、研究者、行政関係者、一般市民等

※ 事故防止対策、公衆衛生対策、開催用件は東京大学の規則規定に従います。

開催：2018年（平成30年）3月9日（金）

開場 10:30~17:00 閉場

会場：東京大学 弥生講堂（一条ホール）・（300名収容）

（交通アクセス：地下鉄南北線・東大前 裏面参照）

主催：一般社団法人日本飼料用米振興協会  
後援：農林水産省

E-Mail [sympo20180309@j-fra.or.jp](mailto:sympo20180309@j-fra.or.jp)

FAX 03-3373-8119

一般社団法人 日本飼料用米振興協会（海老澤 宛）

受付開始 1月4日

参加申込書



飼料用米多収日本一・畜産物ブランド日本一表彰式  
飼料用米普及のためのシンポジウム2018

2018年 月 日 記入

参加希望者氏名／フリガナ		
所属組織名称		
役職名称		
メールアドレスor F A X		
緊急時電話		
懇親会参加	参加する	参加しない

●シンポジウム終了後（17：30～19：00）、希望者による情報交流懇親会を行います。  
お一人3,500円（領収書を発行します）。農学3号館 正門正面の建物の地下食堂。

●お問合せ先 メールで 事務局 にお問い合わせください。

メールの場合 [postmaster@j-fra.or.jp](mailto:postmaster@j-fra.or.jp) 日本飼料用米振興協会 事務局

電話の場合 緊急時 070-3522-3151（若狭）

●参加申込先 〆切は3月7日（水） その後は、直接おいでください。

一般社団法人 日本飼料用米振興協会 〒164-0013 東京都中野区弥生町1-17-3

メールの場合 [sympo20180309@j-fra.or.jp](mailto:sympo20180309@j-fra.or.jp)（可能な限り、お願いします）

FAX の場合 03-3373-8119

上記へメール（優先）、FAX又は郵送をして下さい。

なお、参加申込みいただいた個人情報は、本協会の行事等のご案内以外には使用いたしません。



会場案内図 最寄駅 所要時間

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線） 徒歩8分 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線） 徒歩6分

湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線） 徒歩8分

●東大前駅（地下鉄南北線） 徒歩1分

春日駅（地下鉄三田線） 徒歩10分